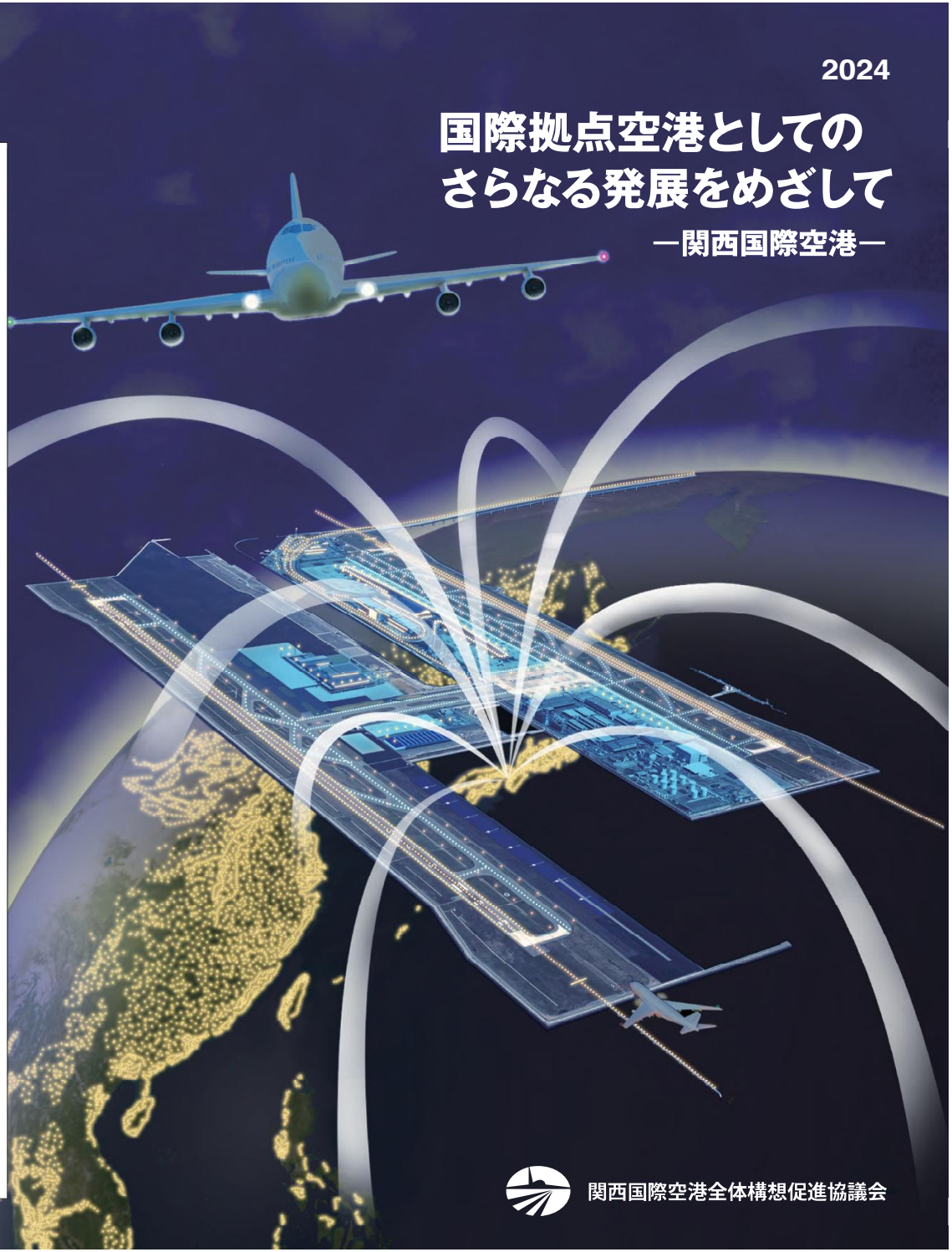
わたしの
行こう！飛ぼう！関空！

2024

国際拠点空港としてのさらなる発展をめざして

―関西国際空港―



関西国際空港全体構想促進協議会

当協議会は、関西の自治体や経済界等オール関西で構成された団体で、国等に対する要望活動のほか、関西国際空港の利用促進・利便性向上に関する事業に取り組んでいます。

■設　立　1998年7月28日

2024年7月1日時点

■役　員

会　長	(公社) 関西経済連合会会長	松本　正義
副会長	大阪府知事	吉村　洋文
	兵庫県知事	齋藤　元彦
	和歌山県知事	岸本　周平
	大阪市長	横山　英幸
	堺市長	永藤　英機
	神戸市長	久元　喜造
	大阪商工会議所会頭	鳥井　信吾
特別参与	関西エアポート(株) 代表取締役社長CEO	山谷　佳之
参　与	新関西国際空港(株) 代表取締役社長 関西国際空港土地保有(株) 代表取締役社長	保田　亨

■構成団体 87団体

福井県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県
奈良県	和歌山県	徳島県	京都市	大阪市	堺市
神戸市	(公社)関西経済連合会	大阪商工会議所	(一社)関西経済同友会	福井商工会議所	津商工会議所
大津商工会議所	京都商工会議所	神戸商工会議所	奈良商工会議所	和歌山商工会議所	徳島商工会議所
福井県議会	三重県議会	滋賀県議会	京都府議会	大阪府議会	兵庫県議会
奈良県議会	和歌山県議会	徳島県議会	京都市会	大阪市会	堺市議会
神戸市会	高石市	泉大津市	和泉市	忠岡町	岸和田市
貝塚市	熊取町	泉佐野市	田尻町	泉南市	阪南市
岬町	尼崎市	明石市	西宮市	芦屋市	洲本市
淡路市	南あわじ市	和歌山市	海南市	岩出市	紀の川市

(一社)滋賀経済産業協会	(一社)京都経済同友会	(公社)京都工業会
(一社)京都経営者協	(一社)神戸経済同友会	(公社)兵庫工業会
兵庫県経営者協会	奈良経済同友会	(一社)奈良経済産業協会
(一社)和歌山経済同友会	和歌山県経営者協会	堺商工会議所
高石商工会議所	和泉商工会議所	泉大津商工会議所
岸和田商工会議所	貝塚商工会議所	泉佐野商工会議所
尼崎商工会議所	西宮商工会議所	(一社)日本経済団体連合会
日本商工会議所	(公社)経済同友会	(一財)関西空港調査会
関西エアポート(株)	新関西国際空港(株)	関西国際空港土地保有(株)

■位置図

■参加団体 約160団体（促進協の趣旨に賛同し、協力をする団体）

事務局　大阪府 政策企画部 成長戦略局 空港政策グループ
〒540-8570　大阪市中央区大手前2丁目1番22号
TEL (06) 6944-6549　FAX. (06) 6944-6842
E-mail：kuko@gbox.pref.osaka.lg.jp

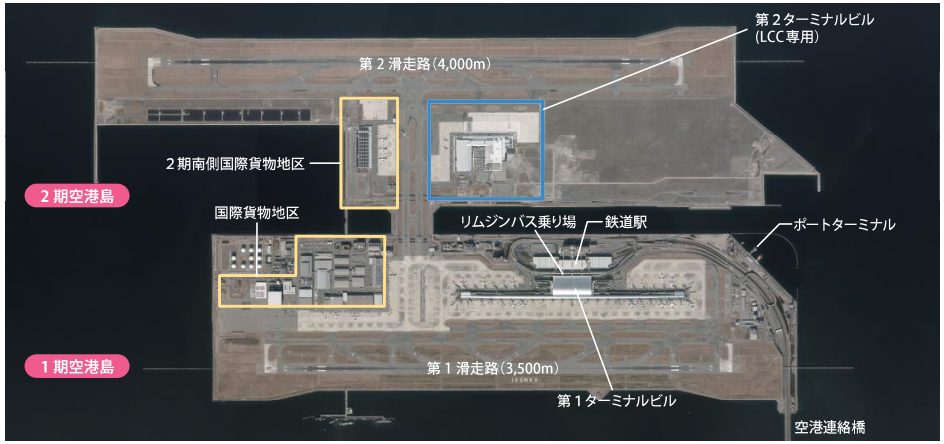
促進協ホームページ https://www.fly-kix.jp/

促進協

メールマガジン「KIXは、いま」登録者募集中！

関西国際空港全体構想促進協議会

関西国際空港の施設概要



1期島

■面積：約510ha
■開港日：1994年9月4日
■主な施設
第1滑走路(3,500m×60m)、駐機場(75スポット)、
第1ターミナルビル、貨物取扱施設、空港駅等

2期島

■面積：約545ha
■供用開始日：2007年8月2日
■主な施設
第2滑走路(4,000m×60m)、駐機場（27スポット)、
第2ターミナルビル、貨物取扱施設、駐車場等

関西国際空港の強み

優れた空港機能

- 長距離滑走路2本を有する完全24時間運用空港
- 強化された防災対策で災害に強い空港
- 機能性が高く洗練されたデザインの第1ターミナルビル
- LCC専用の第2ターミナルビル

利便性の高い就航ネットワーク

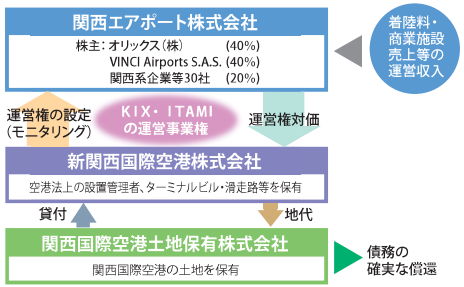
- 世界23ヶ国・地域、68都市を結ぶ航空路線(2024年夏スケジュール)
- 東京圏に比べ、アジアに約1時間近い
- 日本のほぼ中央に位置し、便利な内際乗り継ぎ機能

空港アクセスの充実

- 鉄道、リムジンバス、高速船など多様な空港アクセス

日本初のコンセッションによる複数空港運営

コンセッションスキーム



促進協の主な取組み

国への要望活動(2023年度の要望項目)

- **2025年大阪・関西万博とその後の成長を見据えた関空の機能強化等**
（地域の合意形成に向けた協力、観光振興への支援 など）
- **円滑かつ快適な受入体制の整備**
（空港関連事業者の人材確保支援、スマートレーン等の導入支援 など）
- **国際線旅客需要の早期回復**
（インバウンド回復に向けたプロモーション実施 など）
- **関空の脱炭素化の推進**
（再生可能エネルギー導入等支援）

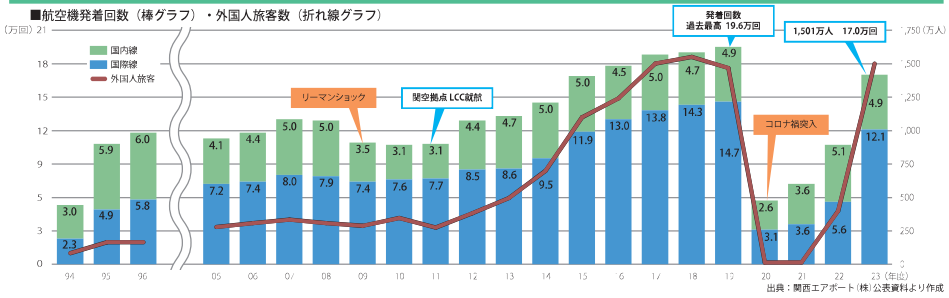
2023年の要望活動の様子

関西国際空港ゲートウェイ機能強化促進事業

1. 航空需要の回復
関空を成長軌道に戻すための航空会社と連携した関空路線のPR事業 など
2. 関空の立地効果波及推進
関係自治体等と連携した、関空が立地する経済的効果を地域に取り込む事業 など
3. 空港機能の維持に必要な取組
空港内事業者が行う人材確保に向けた取組への支援 など

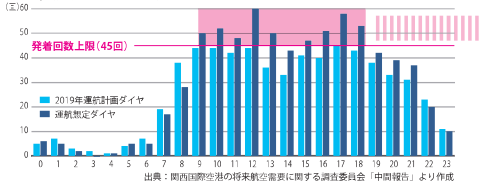
2025年大阪・関西万博とその後の成長を見据えた機能強化

Ⅰ　関西国際空港の概況



Ⅱ　年間発着回数30万回の実現に向けた取組

1　将来需要予測と発着容量の拡大（2022年8月～ 9月）



▶2025年万博開催時に現在の処理能力**時間値45回を超える可能性が高いと予測**
▶さらに、2030年には最大30万回/年に達する可能性

2025年万博までに、**時間値45➡60回（年間30万回）**に引き上げるため、国に対し、現在の飛行経路を**必要最小限の範囲で見直すよう要請**

2　新しい飛行経路案の検証と改善提案（2023年6月～ 2024年3月）

新しい飛行経路案(国案)
(2023年6月)
[主なポイント]
①経路の直線化・複線化
〔新経路：出発２本、到着２本〕
②陸域制限高度の引下げ
〔出発便：8千ft以上→5千ft以上〕
③出発・到着滑走路の入替え
〔出発・到着便の交差回避〕

環境検証委員会による検証、提案
(2023年8月～ 2024年1月)
▶客観的・科学的見地から航空機騒音の影響を検証し、**環境基準を超えないことなどを確認**
▶地元の意見聴取を経て、住民の生活環境への負担を軽減する観点等から、**国・地域への提案**をとりまとめ

国・地域への提案(2024年１月)
国に対する要請
①海上空港における基本理念の遵守
②新飛行経路の運用時間の制限
③高度を引き上げる運用努力
④環境監視体制等への参画と協力
地域における取組み
①地元への真摯な対応
②環境監視体制等の強化
③空港と共生し、ともに発展する地域づくり
国・地域等に対して
①安全性の確保と徹底
②想定外の事態が発生した場合の再検討

国から、当該提案に応える旨回答(2024年3月)

3　地元合意（～ 2024年7月）

▶度重なる住民説明会や地元自治体協議を経て、**2024年７月、関西３空港懇談会※において、新飛行経路案の導入に合意**
『「公害のない空港」という海上空港の基本理念の下、地元の意見、要望を真摯に受け止め、最大限の配慮を行うことを前提に、関西の成長にとって必要な新経路案の導入に合意する』(2024年7月　関西３空港懇談会とりまとめ文書より抜粋)
※ 関空・神戸・伊丹のあり方を検討するため、関西経済連合会会長を座長に関係自治体と経済界で構成

Ⅲ　第1ターミナルビルの大規模改修

◆万博需要に対応するため、第1ターミナルビルの改修が進行中

- 2022年10月 **新国内線エリアオープン**
- 2023年12月 **新国際線出発エリア中央エリアオープン**
- 2025年春 **新国際線保安検査場および新国際線ラウンジ運用開始** ⇒ グランドオープン(主要機能完成)
- 2026年夏 **新国際線出発エリア南北商業施設増設**

大阪・関西万博